

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |              |
|----------------|-------------|----|--------------|
| ○事業所名          | フェアリー       |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 3月 1日 |    | 2026年 3月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 15 | (回答者数) 10    |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 4月 1日 |    | 2026年 4月 8日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 10 | (回答者数) 10    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 4月 9日 |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|---|--|---|
| 1 | 子供・保護者様にとって安心して利用していただけるよう情報の共有等をこまめに行っている。               | 送迎時の時などにしっかりと情報共有ができるようにお伝えを行い個別支援計画の更新とは別に随時相談等を行い支援の共有や助言が行える環境を作っています。また、希望者等あれば、ケア担当者会議にも参加させて頂いております。 | 今後も同様に取り組み、保護者様の意見等もお聞きするとともに改善点がないか考えて行っていく。 |
| 2 | 専門職は在籍していないが、児童に合った専門性を独自で勉強し支援に生かしており、保護者様からもいい評価を頂いている。 | 訪問リハビリに参加し学んだり、児童の特性をしっかりと理解したうえで支援に入り、独自でしっかりと勉強や研修を行い全スタッフが共有し行えるように意識している。現状維持ではなく先の事柄等も検討し行っています。      | 外部研修やリハビリ等に参加しより一層知識を入れて、支援を行える様取り組む。         |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 3 | 土曜日・長期休暇・祝日等の長時間利用時には外出の機会を設けて、事業所内では学べないような社会のルールやトラブルを学べる機会を設けている。 | 同じ個所が被らないように新しい箇所を探していき取り入れる事で、様々なシチュエーションに対応出来るよう意識している。またトラブルは排除せずにスタッフがしっかりと支援に入り学ぶことができるように支援行っています。 | 探す手段等を増やしていけるようにネット以外の物も取り入れていく。また、より多くのシチュエーションを用意しルールと対応力を学べるようにする。 |
|---|--|--|---|

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等           |
|---|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 | バリアフリー化されていない為、車いす等の移動などが少し困難ではある。         | バリアフリー化する予定はないが、室内を広く使えるように工夫が必要。 | 室内の環境整備を工夫していく。                |
| 2 | 保護者同士の交流の場がない為保護者間での情報共有が行えない。             | 保護者会等の希望者がとても少ないことから保護者会の開催を行えない。 | 保護者会の希望者が増えた時には実施していく方針を考えていく。 |
| 3 |  |                                   |                                |